

渡辺大三 NEWS

2017(平成 29)年 1 月 4 日号



編集発行 リベラル保守の会(会派ニュース)

【会派】本町 6-6-3 小金井市議会内 【自宅】中町 3-25-10-201

ご意見ご要望は… watanabedaizou@gmail.com FAX 042(381)5074 まで

◆日々の報告や雑感、市政速報は facebook で <https://www.facebook.com/daizou.watanabe.5>

リベラル保守の会は市議会を変えます 地域政党だからこそできる「真の議会改革」

明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。2017年最初のNEWSです。ぜひ御一読願います。

本日は、小金井の地域政党「リベラル保守の会」がめざす市議会改革について、「12の提案」をご紹介します。私どもは、地域政党だからこそできる「真の議会改革」に真摯にチャレンジしてきました。今回の提案が実現すれば、市議会の姿が大きく変わり、市民ファーストの議会に大きく前進することになります。

小金井市議会の議会改革に関して、ぜひ皆様のアイデアをお寄せください。お待ち申し上げております。

真の市議会改革へ 12の提案

市民に開かれ、活発に疑問点を質疑し、自ら政策を立案する「市民のために働く議会」への転換を図ります。

①「議会への手紙・FAX・Eメール」制度の創設

市民の皆様からのご質問に対して、「1か月以内」に議会の全ての会派の回答を送付します。行政サイドはすでに同様のシステムを始めています。市民の声を行政に反映させるべき議会に、こういうシステムがないのは不自然です。

②議会主催の議会報告会は、毎定例議会(年4回)で

現在のルールは「年1回以上」となっています。これでは少なすぎます。また、議会報告会とは別に、さまざまな団体やグループの皆さんと議会との政策懇談会制度を創設し、市民との対話を大事にする議会をめざします。

③「文書質問」制度を創設し、問題点にいつでも即時対応

いつでも議員から行政に「文書質問」できる新制度を創設します(国会、都議会、他議会で実施しています)。市民の皆様の「なぜ？」への対応が飛躍的に早まります。

④市議会議員の定数を削減/市議会議員の報酬を削減

議員定数は、現行の24人から、段階的に20人にまで削減し、少数精鋭の議会にします。また、市議会議員の報酬を削減します。そのことで、年約5500万円の財源を生み出し、子育て支援や高齢者施策などに活かします。

⑤政務活動費は使途明細と領収証まで市議会HPで公開

すでに自発的に公表している先進市を見習います。また、政務活動費で印刷した個々の会派のニュースは、市民の税金で印刷したものであり、全市民に公開します。

⑥新庁舎では、専用議場はつくらず、大会議室として整備

議場の年間利用回数は極めて少ない現状です。多目的な大会議室として整備し、行政利用や市民利用にも開放します。必要なのは立派な議場の「権威」ではなく、きちんと活動する議会や議員という「実質」です。

⑦「見える市議会」に向けて大胆な議会広報改革を

市議会のほぼ全ての会議のUstream中継を継続し、音声や画像の水準を引き上げます。市議会独自のHPを開設し、市議会情報の掲載を充実させます。FacebookやTwitterでのリアルタイムでの議会情報発信をスタートさせます。「市議会だより」の紙面を全面リニューアルし、重要課題に関する解説や資料掲載などを充実させます。

⑧自由闊達な質疑を通じて、案件の論点、問題点を公開の場で明らかにし、市民ファーストで課題解決を

発言時間や資料要求に制限を加えるのではなく、案件に関して、きちんとした資料をもとに、充実した質疑を行う活発な議会をめざします。めざすは職責を果たす議会です。

⑨議員の政策形成能力、条例作成能力を高めるための新しい研修制度を創設

議員には十分な研修制度がなく、議員提案の条例づくりも行政側に依存しています。研修を充実させ、「議員力」の高い議員が集う議会にします(議員研修会は市民にも案内し、議員との意見交換の時間も設けます)。

⑩原則として、深夜議会は行わず、職員残業代を削減

深夜議会は、職員の健康への影響がある他、職員の残業代などの無駄を生みます。また、女性の政治参加の障害にもなっています。十分な審議日程を確保し、原則として深夜議会(夜10時以降)を開かないルールを定めます。

⑪必要に応じて議会を開ける「通年会期」の導入を

現状は、会期と会期の間で重大事案が生じても本会議を開けません。いつでも本会議を開けるようにしておき、リアルタイムで問題を解決する議会にすべきです。

⑫議会基本条例は不断に見直し、日本一の水準へ

昨年8月1日に小金井市議会基本条例が制定されました。しかし全議員一致の前提で作成したため合意に達しなかった項目も多く、日本一の水準とは言い難い面も多々あります。先進市議会の事例を網羅し、日本一「市民ファースト」の議会をめざしていきます。

渡辺大三略歴

小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校・東京都立小金井北高等学校・中央大学法学部卒業。(株)河北新報社で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、26歳で市議初当選。以降6期連続当選(直近3回は無所属で当選)。

東京の地域政党「自由を守る会」事務局長。小金井の地域政党「リベラル保守の会」事務局長。全国地域政党サミット構成団体役員。行政監視団体「情報公開こがねい」共同代表。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会(自治会)相談役。

趣味=ダイエットと軽い筋トレ、フルート(初心者)、車の運転など。